

生殖医療センター

➤ 2023年度 診療実績・成績

妊娠成績：ART妊娠判定陽性率（胚移植数あたり）： 44.7%

臨床的妊娠率（胚移植数あたり）： 41.0%

当院治療により妊娠卒業された方の主な合併症

悪性腫瘍：乳癌治療後、子宮体癌MPA治療後
白血病治療後、悪性リンパ腫、脳腫瘍術後
直腸癌術後、甲状腺癌術後、卵巣腫瘍

血液疾患：特発性血小板減少症（ITP）
抗リン脂質抗体症候群、
本態性血小板血症

自己免疫性疾患：SLE、シェーグレン症候群、関節リウマチ

内分泌代謝疾患：糖尿病、甲状腺疾患、下垂体腫瘍術後
原発性アルドステロン症

腎疾患：Alport症候群

婦人科疾患：双角子宮、帝王切開術後癒痕症候群、円錐切除術後
不育症（Protein S低下、夫婦染色体異常など）、子宮内膜症、巨大子宮筋腫

その他：Beckwith-Wiedemann症候群 など

男性因子：無精子症、精索静脈瘤など

AMHと採卵時 平均回収卵子数

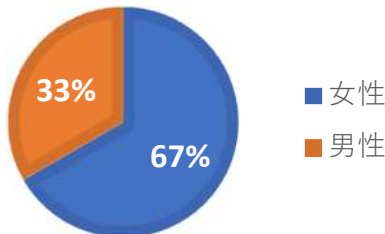
AMH (ng/mL)	回収卵子数 (個)
-0.5	1.5
0.5-1	5.8
1-2	10.7
2-3	11.3
3-4	18.8

➤ 2023年度実施した当院が申請医療機関である先進医療

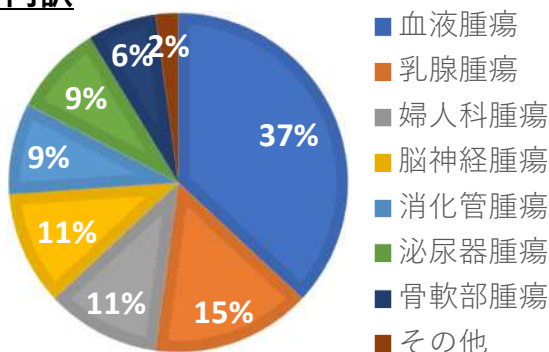
- ・次世代シーケンサーを用いた流死産絨毛・胎児組織染色体検査（2022/12～）
- ・着床前胚異数性検査（2023/4～）

➤ 妊孕性温存治療に関する相談・治療

性別の内訳



原疾患の内訳



代表的な原疾患

血液腫瘍：白血病、ホジキンリンパ腫

乳癌腫瘍：乳がん

骨軟部腫瘍：骨肉腫、Ewing肉腫

脳腫瘍：髄芽腫 神経芽種

胚細胞性腫瘍

泌尿器腫瘍：セミノーマ、胚細胞性腫瘍

消化器腫瘍：直腸癌、大腸癌

卵巣腫瘍：境界悪性/悪性 卵巣腫瘍

子宮体癌MPA治療

自己免疫性疾患：

全身性エリテマトーデス（SLE）

皮膚筋炎 など

妊孕性温存療法の実施者の割合

妊孕性温存療法 実施/待機中	72.5%
カウンセリングのみ	27.5%

※妊孕性温存療法：「受精卵凍結」「未受精卵凍結」「卵巣凍結」「精子凍結」

医学的適応症例に対する卵巣凍結（2023年）： 3 症例

年齢：7-13歳 原疾患：急性リンパ性白血病、横紋筋肉腫、髄芽腫

卵巣凍結時に 卵子回収 / IVM を実施（IVMにより成熟した卵：50.0%）